

川本地域への公園の設置を

市街化調整区域なので、多方面から研究・検討を進める

清水 修

問 旧深谷市内には、一定の間隔で身近な市民公園が設置されているが、川本地域には身近な公園がない。公園を設置して市民に憩いの場を。

答 川本地域への公園設置は、「緑の基本計画」に位置づけられているが、市街化調整区域であり、具体的な土地利用計画を策定することは種々の困難が予想される。また、公共用地の新規取得は非常に困難なことから、公共用地の未利用地を利用することも一つの方策であると考えている。今後、多方面から研究・検討を進めていく。

雨の日などの子どもの居場所を

問 土・日・祝日における雨の日など、家の中では子ども（幼児）が退屈してしまい、デパートなどで時間を過ごしているのが現状だが、何かとお金も使ってしまう。市の施設を子ども（幼児）の居場所として提供できないか。

答 休日における子どもへの公共施設開放の現状は、子育て支援センターでは、土曜日も育児相談と施設を開放している。また、公民館は全館ではない



深谷市産業祭の実施状況について

昨年に増して盛況で今後も賑わいのまちづくりを進めたい

柴崎 重雄

問 第7回産業祭は旧中山道商店街で開催された。商工業、農畜産物販売、サンパレード、ゆるキャラ、N-1グランプリ、まちコン等で盛況だった。その実施状況は。

答 仮設トイレを13基、駐車場1020台を設置。来場者数約7万5000人（前年比9000人増）で既存店舗の売り上げは調査中。N-1グランプリで第1位が武州煮ほうとう研究会に輝いた。地域の活性化と出会いの場の創出を目指した「深谷deまちコン」は300人余りが参加し、好評であった。

深谷宿屋台村について

問 中心市街地に人の流れを作り、賑わいの場所づくりを目的とした深谷宿屋台村の実施内容は。

答 埼玉りそな銀行の向かい側の市有地に店舗を連ねる形で建設し、一店舗広さ3.6坪、カウンタートと8座席程度敷地内にトイレ、農産物直売所を設置予定。なお、事業実施主体は深谷商工会議所と西島商友会で来年春にオープン予定である。



産業祭

産業祭で農畜産物共進会が実施されなかったがなぜか

農業関係団体の意向等を踏まえ、実施を見送った

馬場 茂

問 農畜産物の共進会が2年続けて実施されなかった。深谷市の農業振興を図るためにも必要な事業だと思いが。

答 市内4農協、深谷市園芸協会、深谷市花き園芸組合連絡協議会などの農業関係団体の意見では、産業祭の時期は農繁期で忙しいため、共進会は実施しなくてもよい、とのことから、産業祭実行委員会において実施の見送りを決定した。

問 市街地の活性化がひとつの目的だと思いが、2年間の具体的な成果は。

答 来場者アンケートの結果、約半数の方が会場周辺の既存店で、気に入った店や商品を見つけたとの意見もあり、また商店街の若手を中心としたグループが組織され、まち中を盛り立てる活動が開始された。

消防団車庫の耐震化対策は

問 築30年以上経過した車庫6カ所が耐震基準不適合とのことだが、今後の対策は。

答 消防救急デジタル無線システム整備以降、古い車庫から順次建て替えを



産業祭 深谷農博覧会

花園水辺公園の活用について

今後の活用について市の構想は？

中矢 寿子

振り込め詐欺対策は

問 高齢者を狙った詐欺事件が多発している。その実態と対策は。

答 昨年は被害件数4件、5900万円。被害は4件、3600万円。対策は市、警察署、防犯協会連携実施。防災行政無線で注意喚起、防犯協会の地域安全ニュース、金融機関などでの街頭啓発キャンペーン、自治会長会議での情報提供、公民館でのポスター掲示である。

花園水辺公園の活用について

問 今後の活用について市の構想は？

答 この公園は、河川占用許可を得て利用しているため、固定した施設や建物などの建築は制限されているので、現在のような多目的広場として、ユニケーションを図る公園として維持していきたい。

介護保険業務は広域に任せず市独自で取り組むべきでは

今後も広域と連携を図りながら取り組んでいきたい

中矢 寿子

問 介護保険制度導入から約12年。大里広域のように介護保険の事務処理を広域で行っているのは県内で1カ所、全国でもわずかと聞く。介護保険に求められるきめ細やかなサービスを考えると市独自で取り組むべきと思うがどうか。

答 広域で取り組むことで、事務の効率化、財政基盤の安定化、要介護認定の地域間格差が解消される。今後も、広域と連携を図りながら取り組みたい。

問 毎年「敬老の日」を中心に、各地で開催され、ほぼ30%強の方が参加している。開催規模・日程・主催者・記念品等を見直す考えはないか。現在の形式ですと続けていくのか。

答 今年度の出席率は33.4%で近隣市町と比べ若干平均を上回っている。開催にあたっては、市と関係団体が実施主体となっている。今後も事業内容の見直しなどの必要が生じた場合は、協議・調整していく。平成28年度以降、対象者急増による新たな課題が生じる



花園水辺公園